

# 第12回月山の四季フォトコンテスト 入賞・入選作品

テーマ／月山の四季  
審査員長／辰野 清 氏  
応募総数／280点

(社) 日本写真協会会員  
日本風景写真協会指導会員

## 【総評】

昨年に引き続き多くの応募があり、地域の写真熱への盛り上がりと地元への関心度の高さが感じられる審査でした。特に昨年度は少なかったスナップ的な写真が増えたことは、地域の文化や歴史に興味が出た証でとても好感視できます。生活圏をしっかりと見つめるということは写真表現のみならず、人生を豊かに過ごすという意味でも必要な行為かと思われまます。また風景写真については相変わらずレベルが高いのですが、同じ風景でも完成度が増してきたというか、風景との時間をしっかりと見つめた表現に進化してきたように思えました。とにかく写真のレベルが年々目に見えて上がっていることには驚きです。これからも、風光明媚な月山の光景が写真という新たな輝きを放ち、多くの人々の感動を呼ぶことでしょう。来年の応募への期待がさらに高まる素晴らしい内容でした。

## 辰野 清 (たつの きよし) 氏 プロフィール



1959年長野県岡谷市生まれ。1987年長男の誕生を期に、風景写真の撮影を本格的に始める。1991～2002年にかけて、第13回「日本の自然」写真コンテスト最優秀賞、長野県一賞受賞、月桂冠「花鳥風月」フォトコンテスト、フジフォトコンテスト、二科会公募写真展、信州写真展、県展等で上位入賞、他多数。98年と02年には、隔月「風景写真」誌フォトコンテストにて、年間最優秀賞受賞、この5年間で最優秀賞9回を含む57作品入賞。03年に第11回「前田真三賞」受賞、04年にはフリーランスとなり、《自然泰フォト》辰野清写真事務所を設立。08年には隔月「風景写真」誌フォトコンテスト審査員(テーマ部門)を任せ、その後も現在に至るまで、毎年ごと隔月「風景写真」誌フォトコンテスト審査員を務める。イベントトークショーや執筆活動を行う傍ら、自身の作品の写真展も開いている。

# 審査結果

審査会:平成30年12月 11日(火)



西川町長賞

「晩秋の月山」

佐竹 吉廣氏 (山形県寒河江市)

[選 評]

大井沢から見る雪を纏った月山も絶景まさに絶景です。作者は月明かりでの雪山の階調に、北天の星の軌跡を絡めることで、霊峰月山の悠久の時間を表現しているのでしょう。手前に月山自動車道の橋脚と、奥に月山大橋をバランスよく入れた構成からも気配りが感じられます。随所に作画の拘りを感じる作品です。



月山朝日観光協会長賞

「残雪の楽園」

荒崎 節夫氏 (栃木県那須塩原市)

[選 評]

リュウキンカの花がここまで満開で群生している皮松谷地は初めて見ました。雪を纏った月山を背景に、花も周囲の芽吹きもピークを迎え見事に狙いが的中している作品です。また広角レンズで手前の花を大きく捉えたことで、作品にダイナミックな解放感が生まれています。青空と湧き雲からも爽やかな春の空気感が感じられ、まさに月山の楽園なのでしょう。



## 西川町商工会長賞

### 「神楽舞の躍動」

工藤 広顕氏（山形県東根市）

[選 評]

国重要文化財に指定されている岩根沢三山神社の「太々神楽の舞」は、出羽三山信仰に育まれた歴史と文化を継承する素晴らしい神事です。神の使いが所願成就と五穀豊穡を願いお米を蒔くポーズがバッチリと決まっていますね。またスローシャッターで動感豊かに描いたことで躍動感の溢れる作品になりました。



## 佳 作「一緒に撮ろう」

井上 英昭氏（山形県中山町）

[選 評]

志津温泉の雪旅籠でのワンシーンのようですが、子供たちに人気のスターウオーズキャラクター「チューバッカ」が後ろにいる不思議な写真です。可愛らしい女の子の笑顔と一見異様なキャラクターとのミスマッチ的な面白さに目が止まりました。服装の配色や雪像の額縁構成も子供たちの笑顔を一心に集める効果として活きていますね。



佳 作「秋色に輝く」

高橋 雄一氏（山形県寒河江市）

〔選 評〕

夕照に輝く五色沼の秋にはいつもうっとり  
とします。左側からのやや赤みを帯びた低  
い光の恩恵で、晩秋を迎えつつある水際の  
森が再度豊かな秋を演じているかのよう。  
鏡面化した水面も、背景に迫る夕方の静寂  
感を待つかのような佇まいです。対岸のま  
だ緑の森との対峙からも季節の時間が感じ  
られて味わい深いでしょう。



佳 作「悠久の流れ」

増川 満氏（山形県河北町）

〔選 評〕

月山の融雪水で水嵩が増えている寒河  
江川をゆったりと描き、心がどこかし  
こともなく穏やかになる作品です。シ  
ャッタースピードが絶妙でまさに目前  
の流れを見ているかのような現実感が  
魅力的でした。背景の新緑や残雪も季  
節の説明するいい脇役です。空の濃度  
を焼き込んだことで視点が流れに集中  
できたことも加点でしょう。



### 佳作「志津の花火」

武田 徳勝氏（山形県天童市）

〔選 評〕

雪深くどちらかというとい暗いイメージのある月山ですが、それを覆すかのような華やかな光景です。大きな打ち上げ花火もさることながら、天からの白い使者がストロボの光によってイルミネーションのように光り輝いています。雪旅籠の灯もどことなく儂く、北国の人々の心の在りようが感じられる優しい写真です。



### 佳作「雲上のアート」

芳賀 長悦氏（山形県寒河江市）

〔選 評〕

月山八合目のスプーンカットを夕方  
の光と影を大胆に仕上げた逸品です。見方によっては地球創成を感じさせる不気味な写真ですが、空の赤味を強調したことでさらに危機感を煽るような表現となりました。撮影が終わるころには周囲は真っ暗になっているのですが、そんな苦勞の跡の伺える労作でもあります。



入 選「輝く湖面」  
郷野 幹雄氏 (山形県東根市)



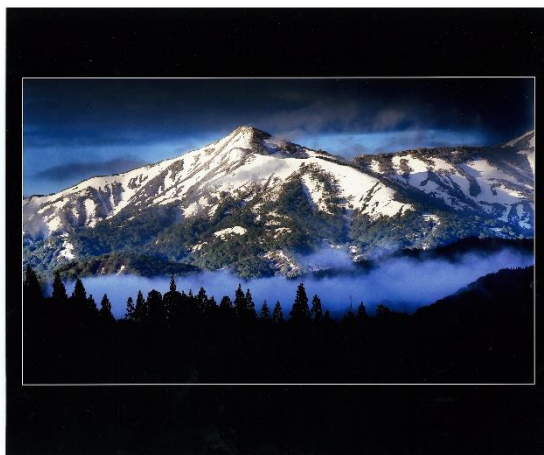
入 選「霧のブナ林」  
倉金 秀弥氏 (山形県山形市)



入 選「生命の桜」  
結城 勉氏 (山形県山形市)



入 選「ウエルカム 月山」  
須貝 鐵男氏 (新潟県胎内市)



入 選「雲わきあがる」  
田村 勲氏 (新潟県新潟市)



入 選「夏の朝」  
齊藤 勝美氏 (山形県山形市)



入 選「色づく春山」  
鈴木 明吉氏（山形県南陽市）



入 選「雪遊びのあと」  
諸谷 美栄子氏（石川県白山市）



入 選「月山からの眺望」  
齋藤 新一氏（山形県鶴岡市）



入 選「草紅葉を行く登山者」  
白田 恭悦氏（山形県天童市）



入 選「重厚な舞」  
鈴木 清氏（山形県中山町）



入 選「雪旅籠のダンサーNo1」  
飯沢 守氏（山形県山形市）



入 選「山伏行進」  
鈴木 貞治氏（山形県天童市）



入 選「威風堂々」  
大場 直寛氏（山形県河北町）



入 選「幸せを願って」  
阿部 大介氏（山形県西川町）

## 【作品展示会の開催】

平成 31 年 1 月 7 日（月）～1 月 16 日（水）西川交流センター2F ギャラリー（西川町間沢 280）  
1 月 16 日（水）～3 月 1 日（金）霞城セントラル 1F ギャラリー（山形市）  
3 月 1 日（金）～3 月 26 日（火）山形空港ビル 2F 多目的ホール（東根市）  
3 月 26 日（火）～4 月 15 日（月）村山総合支庁 1F ギャラリー（山形市）  
4 月 15 日（月）～5 月 30 日（木）天童市森林情報館もりーな天童 1F（天童市）  
※1/16、3/1、3/26、4/15 については、搬出及び次会場への搬入となります。